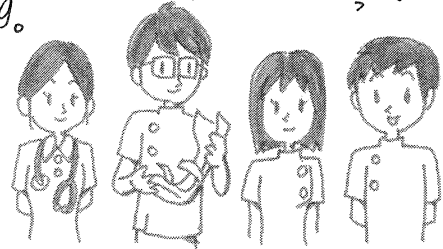


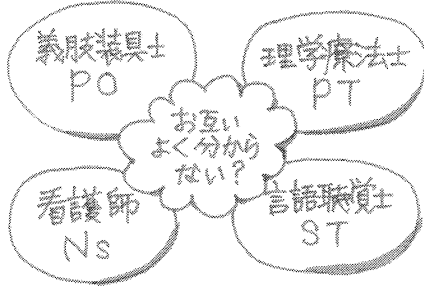
中リ八通信 5「珪山会グループの多職種連携教育」

学校法人珪山学園には、当校以外に「専門学校日本聴能言語福祉学院」があり、言語聴覚士や義肢装具士を目指す学生が通っています。
さらに系列の医療法人珪山会には、鶴飼リハビリテーション病院、鶴飼病院をはじめとする医療・福祉施設があり、看護師を養成する中部看護専門学校もあります。



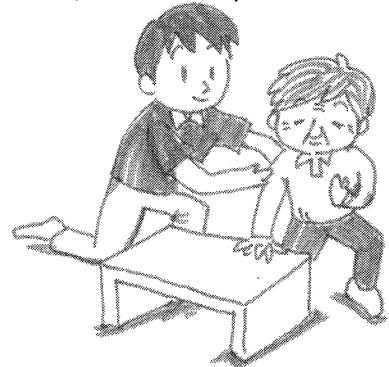
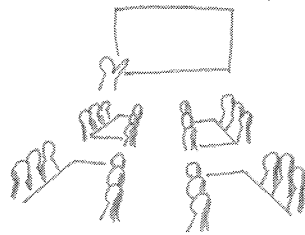
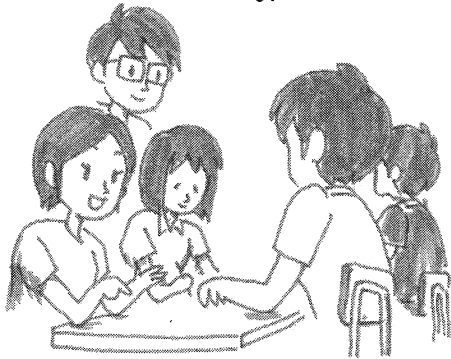
学校法人珪山学園と医療法人珪山会では、平成17年から各学校の最終学年の学生を対象に職種間の「連携」を学ぶため、合同での授業を行っています。

この合同授業の目的は、他の専門職が患者さんに対してどのように考え、治療アプローチをするのかを理解することです。

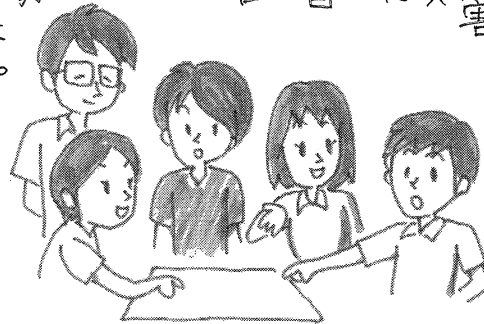


実際の患者さんに協力していただき入院中の様子をビデオ撮影します。それを病院職員が授業用にデータをまとめ、学生に提示します。
参加した各学校の学生を6〜7名にグループ分けし、自己紹介や職種の紹介を行った後、患者さんの映像を見ながら意見交換させていきます。

日頃は同じ職種を目指す学生同士で議論するのですが、合同授業では他の職種に自分の職種の専門性をどう伝えるかを学びます。参加した学生はその難しさを体感していました。



体に障害を抱えた患者さんは、日常生活の動作を再獲得するためにリハビリテーションを行うのですが、多職種がバラバラにアプローチしているのは、効率的な成果に結びつきません。
患者さんの障害を多職種が共通に認識し、患者さんの生活に根差した同じ目標を共有する、その上で、アプローチが大切なのです。
そのため、学生のうちから議論して関係を築くことが必要なのだと思います。



珪山会グループでは、このような取り組みにより卒業した後も、社会に貢献できる学生を育てています。学校見学も随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。

